



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

FAO (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2010年2月18日

LOJAPR10/04-No. 153

プレスリリース

より持続可能な畜産部門のために FAOの報告書は急速に変化する世界の畜産を分析する

2010年2月18日、ローマ - 畜産品への需要の増加に対応すると同時に、貧困削減、食料安全保障、環境の持続可能性及び人間の保健への貢献を確実なものとするためには、緊急の投資、主要な農業調査研究努力及びしっかりした統治が必要とされる、とFAOは18日発表した主要な出版物「世界食料農業白書(SOFA)」の最新版で述べた。

報告書は、家畜が約10億人の貧しい人々の生計に必要な不可欠であると強調している。家畜は、所得、高品質の食料、燃料、動力、建築資材及び肥料を提供するため、食料安全保障及び栄養に貢献する。家畜はまた、多くの小規模農家にとって危急の際の重要な安全網となる。

しかし、畜産部門の成長の継続が、生計に貢献し、消費者の需要を満たし、環境・保健上の懸念を緩和することを確認するためには、世界、地域、国家、地方レベルにおける十分な投資及び制度の強化の必要性があることをFAOは強調した。

「畜産部門における急速な変化が制度不在の中で進行している」、とジャック・ディウフFAO事務局長は報告書の序文で述べている。「統治の問題がその中心にある。最も広い意味において、政府の適切な役割を特定し、定義することを土台として畜産部門の将来の発展は築かれなければならない。」

この急激に成長している部門が、食料安全保障と貧困削減に十分に貢献し、「より責任のある畜産部門」への移行を確実なものとしていくための取組が必要である。

原動力

畜産部門は農業経済において最も成長の早い部門の一つである、とFAOの報告書は強調している。家畜は世界の農業生産価値の40%を占め、ほぼ10億人の生計と食料安全保障を支えている。世界的には、家畜は総食事エネルギーの15%を占め、摂取たんぱく質の25%を占めている。畜産品からは、他の植物食品から摂取することが難しい必要不可欠な微量栄養素を摂取することができる。

FAO の推定によれば、所得の向上、人口増加及び都市化が開発途上国における食肉製品への需要の増加を支える原動力であり、途上国の需要は引き続き重要である。需要の増加に対応するため、牛の頭数は推定 15 億から 26 億への増加、山羊と羊の頭数は 17 億から 27 億への増加となり、世界の年間食肉生産は、現在の 2 億 2,800 万から 2050 年には 4 億 6,300 万トンに拡大すると見られる。

生計

動物性食品への強い需要は、畜産が経済成長と貧困削減に貢献するための重要な好機となる。しかし、多くの小規模農家が、より規模の大きな集中生産システムに対して競争力を保つためには、複数の課題に直面している。報告書は、「畜産品に対する需要の増加の恩恵を受けることが出来る者と出来ない者の格差が更に広がっている」、と警告している。

FAO は、小規模農家が畜産部門の拡大によってもたらされた機会を捕らえるとともに競争の増加に伴うリスクを管理するための支援を推奨している。農外雇用の創出という、より広範な農村開発戦略は、急速に近代化する部門に適応し、競争できない人々の支援に役立つはずである。SOFA によれば、「政策立案者は、非常に貧しい人々に対する畜産の安全網の役割を認識し、保護する必要もある。」

環境

この部門における天然資源の利用効率を向上させるとともに、畜産による環境への負荷を減少させる必要がある、と報告書は述べている。目標は、畜産の継続的な成長が、生態系、生物多様性、土地・森林資源及び水の品質に不当な負荷を与え、地球温暖化に寄与することがないようにすることである。いくつかの国では、畜産に関連した公害と森林破壊の削減に進捗があったが、多くの国では適切な政策と能力強化が必要である。税制上の措置や天然資源利用料、あるいは環境便益への支払いなど、市場に基づいた政策は畜産が持続可能な手法で行われるように、生産者を仕向けることができるであろう。

畜産は、気候変動への適応と、その人類の福祉への影響の緩和に重要な役割を果たすことができる、と FAO は述べている。畜産からの排出を監視、報告及び検証する能力強化による気候変動緩和及び適応の可能性を実現するには、新たな技術が開発される必要がある。

保健

動物疾病は、システミック・リスクを伴い、取り組まなければならない課題である、と FAO は述べている。新しい病原体は今後も発生を続けるため、動物疾病が人間に感染するリスクを軽減するために、国家動物衛生及び食品安全基盤への投資が必要である。貧しい家畜飼育者は今後更に疾病管理に取り組むべきである。

英文 URL : <http://www.fao.org/news/story/en/item/40117/icode/>